

平成30年度教育事業

体験活動普及啓発事業

「第40回さんべ祭」

- 1 趣 旨 三瓶山周辺地域の5施設と3団体が軸となり、地域の人々と密接な連携のもと事業を展開し、地域の活性化を図る。
- 2 テーマ 『 三瓶の魅力四重奏♪ ～「ありがとう」を重ねて40周年～ 』

三瓶の魅力であり、参加施設の強みである「体験」「文化（食）」「交流」「健康」を活かした企画を展開し、参加者が三瓶地域の魅力を知り、三瓶を好きになってもらう。三瓶地域の様々な魅力を集めた企画を展開し、「さんべ祭」を通じて、いろいろな地域から家族やグループが三瓶地域に集まり、様々な交流が生まれる契機としたい。
 当該イベントは今回で40回目を数える。三瓶地域の魅力を生み出す「自然・人・もの」や、三瓶地域を訪れる人々への感謝の意も込めて、「三瓶の魅力四重奏♪ ～「ありがとう」を重ねて40周年～」とした。

3 事業の概要

- (1) 期 日 平成30年10月13日（土）～10月14日（日）＜1泊2日＞
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家、島根県立三瓶自然館サヒメル、三瓶こもれびの広場木工館、三瓶山北の原キャンプ場、大田市山村留学センター、SANBE BURGER、山の駅さんべ
- (3) 主 催 第40回さんべ祭実行委員会（事務局：国立三瓶青少年交流の家内）
 （構成団体）国立三瓶青少年交流の家、島根県立三瓶自然館サヒメル、三瓶こもれびの広場木工館、大田市山村留学センター、SANBE BURGER、三瓶ウオーク実行委員会、さんべそば推進会議、三瓶神楽実行委員会
- (4) 後 援 大田市、出雲市、雲南市、江津市、飯南町、川本町、美郷町、大田市教育委員会、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、江津市教育委員会、飯南町教育委員会、川本町教育委員会、美郷町教育委員会、山陰中央新報社、朝日新聞松江総局、中国新聞社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、島根日日新聞社、NHK松江放送局、TSK山陰中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、石見銀山テレビ放送
- (5) 参加者 宿泊利用者105名 日帰り利用者8,931名（第1日/3,724名 第2日/5,207名）
- (6) 主な内容 ★体験活動

国立三瓶青少年交流の家会場	ステージ企画 (出演8団体)	北三瓶っ子太鼓クラブ いそたけ保育園 ゴールドの会 and 3B体操 大田ウィンドオーケストラ さんべリンピック 「体験の風をおこそう」運動応援団：サンプルザ中野くん 大社高校合唱部 リトル・TOYBOX
	さんべSUNSUNビレッジ (三瓶地域協育ネットワーク 展示・体験ブース11団体)	★福間牧場 多根神楽団 三瓶まちづくり委員会 美郷町観光協会 子ご美の里 三瓶ヘルスツーリズム協議会 山村留学センター ★近畿中国森林管理局島根森林管理署 ★地球堂模型 イワミ村田製作所
	わくわく体験 “もりだくさんべ！”	★竹細工（マイはし作り） ★木の葉のスタンプバック ★ボルダリング体験（三瓶クライマーズクラブ） ★そば打ち体験（千蓼庵） ★茶道体験（大田高校茶道部） ★幼児期の運動遊び ★カブラ ★天体観察（サヒメル） ★神楽体験（多根神楽団） ★島根県オリエンテーリング協会
	さんべ神楽	佐野神楽社中 飯南神楽団
	さんべ夢ステージ	★さんべ探検隊 ～まわれ！いろんな季節の不思議島～ (さんべボランティアによる自主企画・体験ブース)
	出店&展示	君田折り紙博物館 大田高校写真部 石見地区高校美術部 小さな自然館 美容カイロサロン oak 島根県農林水産部林業課 森っこくらぶ 環境省大山隠岐国立公園松江管理官事務所 ★小林工房（神楽面づくり） ★島根県立青少年の家（サンレイク） なかよし学級 ★サザンクロス なみのりマーケット 神楽写真展 しまねまごころバンク ★やましる屋
	物産・工芸品展	大鍋（2日間各200食無料提供） しまねの物産・工芸品・食品販売・フリーマーケット

共催施設会場	島根県立三瓶自然館サヒメル	★工作コーナー ★スキの迷路
	三瓶こもれびの広場木工館	木工品展示・販売・作成 ★木のおもちゃで遊ぼう（つみ木、コマ、輪ゴムでっぼうなど）
	大田市山村留学センター	施設開放
	SANBE BURGER	「さんべ祭」限定バーガー販売 くじ引き
	さんべそば祭り	三瓶在来そばを使った十割そば、二八そば販売他
	さんべウォーク実行委員会	★「ぐるっと三瓶くにびきウォーク 2018」 ・三瓶周遊コース（15km） ・木漏れ日コース(5km)
共通	スタンプラリー	8施設をめぐる企画 (島根県立三瓶自然館サヒメル SANBEBURGER 石見ワイナリー 大田市山村留学センター 三瓶木漏れ日の広場木工館 山の駅さんべ 国民宿舎さんべ荘 国立三瓶青少年交流の家)

4 成果と課題

《成果》

- ・昨年までと同様に2日間開催したが、1日目のステージ発表を神楽大会にしたことで、①「地元の伝統文化である『神楽』をはじめ、地域ならではの体験をより多くの人に提供することができた。」②「三瓶神楽実行委員会に運営を任せることで職員の負担軽減につながった。」③「雨天時等、天候の影響によるステージ発表の調整が容易となった。」等の効果があった。
- ・昨年の事後アンケートの結果をもとに、運営面の改善を行った。ステージ発表の司会を民間に依頼したり、ブースにおいては、より体験活動ができる出展を増やしたりすることで、さんべ祭の内容を充実させることができた。
- ・40周年ということをきっかけに、実行委員会の構成団体や連携団体が増えたことで、より多くの体験活動を提供することができた。また、新たな団体と連携する中で、今後、交流の家のプログラムや教育事業等で活用できると思われるものが多数あり、新たな連携の可能性を探ることができた。

《課題》

- ・出演、出展団体が増え、準備や調整に時間を要した結果、出演者、出展者等への連絡の遅れや広報の遅れが生じた。出展、出演団体の精選や運営側の初動を早めることにより、より見通しをもった準備や早期の広報活動を行うことで、事業の質の向上や来場者の増加に繋がると考えられる。
- ・準備、調整に時間がかかり、ポスター、チラシの配布が遅くなった。早めの広報活動を行えば、さらに多くの方に来所していただけたと思う。全体の初動を早くできると良い。
- ・今年は事前予約という形でそば打ち体験、ボルダリング体験を実施したが、周知することが難しかった。継続して実施することで周知を図る、宿泊者限定のプログラムにしてターゲットを絞って広報を行う等、工夫が必要である。



神楽鑑賞・体験



サンプラザ中野くん
RUNNER 体操



フィナーレ

(担当：事業推進室長 寺戸 真一)